

～ことばの音楽療法は楽しく学べて子どもさんのことばを増やす～

ことば音楽療法セミナーを受講される発達支援事業、放課後等ディサービスの代表者や療育担当者は皆さん口を揃えて、落ち着いて座っていない。外に出て行ってしまふ。せわしく話すので何を話しているか理解できない。発語が殆ど出ない。全ての音節を1音節のように言う。奇声を上げる等の悩みを訴えます。そして「数分でも静かに座ってくれないかな～」 「せめて理解できる言葉を話してくれないかな～」と切実に言われます。

ことば音楽療法を導入している施設に見学に行くと、落ち着かない子どもさんがセッション（団体セッション）が始まると、玩具を手に持って、楽しくリズムを打ったり、ボール遊びをしている姿を目の当りにされます。それが30分以上続けられるのですから驚かれるのと同時に、こんなにシンプルで、実践しやすく、効果的な方法があることに目を開かれ導入を決められるようです。子どもは数分でも我慢をしません。子どもにとっては楽しいが一番なのです！楽しくなければ、じっと座っていることが苦痛になります。

子どもさんは、楽しいから集中をする→楽しいから継続できる→継続するから積み重なっていく→
この循環が出来上がると、子どもは少しずつですが、確実にことばを獲得されていきます。



INDEX

- ことばの音楽療法は楽しく学べて子どもさんのことばを増やす・・・1ページ
- 2017年度 ことば音楽療法 基礎セミナーを振り返る／堀田喜久男
- ことば音楽療法・基礎セミナー2018年スケジュール（予定）・・・2ページ
- 「ゆくとし くとし」／横浜支部長 高橋亮太郎・・・3ページ
- ことば音楽療法の施設への導入（各施設）・・・4～5ページ
- 生きていくうえで大事なこと／山崎仁美 ●療育教材ベスト3・・・6ページ
- <コラム12>穴戸理恵 ●この人に注目！・・・7ページ
- 認定校・認定教室・・・8ページ

～2017年度 ことば音楽療法 基礎セミナー～を振り返る

日本ことば療法学会 委員長
堀田 喜久男



ことば音楽療法は年を追って盛んになり、その理解を深め、実践を積み、指導法を研究し基礎セミナーを開催したりして指導出来る方が増えて来ました。一方、ことば音楽療法を理解し、身につけたいと思う人が年を追うごとに増えて来ました。

そこで1日をかけて基礎セミナーを各地で開催して来ましたが、今年度の開催は次のようです。中部では名古屋市、岡崎市、西尾市で参加者 計55名。関東ではさいたま市、川崎市で参加者 計30名。関西では大阪市で参加者 22名、東大阪市4回で参加者 計57名。神戸市で参加者 30名。九州では鹿児島県2回で参加者 36名。四国では徳島県で参加者 4名の総計234名です。

今後とも指導者を増やし、理解者、実践者の増える事を願っています。



■2017年度も多くの方が「ことば音楽療法」の基礎セミナーに参加して頂きました。最近と同じ発達支援事業者や放課後等ディサービス施設に勤務するスタッフが一緒（3～5名）に受講される傾向が出てきました。これは療育の中に「ことば音楽療法」を積極的に導入しようとの動きです。そして基礎セミナーを受講された方の約2割の方が、認定資格を得て指導者になります。施設全体で積極的に行うことで、子どもさんや親御さんにもいい影響がでてくることは言うまでもありません。子どもさん自身もことばで意思を伝えたいと思っているはずです。一つの単語、2語文のことば等が子どもさんの生活範囲を広げ、社会性を育てていくことが出来ると思います。（事務局）

ことば音楽療法～基礎セミナー～2018年スケジュール(予定)

- 関東：東京（6月）・千葉（10月）・神奈川（4月）
- 中部：静岡（4月）・愛知県（9月～11月 2回）
- 関西：大阪市（4月）・東大阪（3月～12月 4回）・兵庫県（7月）
- 四国：徳島他（11月）
- 九州：福岡（4月）・長崎県（7月）

ゆくとし くるとし

横浜支部長 高橋 亮太郎

早いもので、もう年末です。この1年は日本ことば療学会の皆さまにとってどのような年でしたでしょうか。日本の音楽療法を振り返ってみますと、今年は7月初頭に学術のメッカ茨城県つくば市で世界音楽療法大会（WFMT）があり、私も参加してきました。

初日の夕方からスコールになり、多数を占める外国人女性（声も身体もデカく、日本語はあまり…）の多くがタクシーを利用したため、気難しい男性研究者には地域がら慣れている地元のタクシー運転手もかなり泡を食ったそうです。

大会では様々なテーマでの発表がありました。日本語通訳は基本的に無いので理解するのが大変だったのですが、我らが後藤浩子先生の笑い溢れる講演にはみな砂漠のオアシスの如く吸い寄せられ、大変な盛況でした。

他方、障害児領域の講演もいろいろありましたが、今回私が関心を持って参加したのが新生児を対象とした音楽療法で、この講習会の内容が私にとって今年もっとも印象に残ったことの1つでしたので皆さまに紹介させていただきます。

講師にはニューヨークからある病院のNICU（新生児特定集中治療室）所属の音楽療法スタッフチームがやってきて、ワークショップを含む中身の濃い講演をおこなってくれました。参加者は最初に目隠しをして病室内での音を聞き新生児のおかれた環境を経験するのですが、かなりリアルでした。病名・症状は様々ですが、生死をさまよう状況を抜けると音楽療法士の出番です。現場では、声と楽器を使った聴覚刺激・振動覚刺激などで感覚過敏の改善や、ハイパーな状態からの鎮静を目的にする場合が多いそうです。不幸にして新生児が亡くなったり重い障害が残るケースもあり、場合によっては落胆する親や自責の念にかられる病院スタッフを対象にセッションをもつこともあるそうで、その責任の重さに息を呑みました。ちなみに、あのS.ワンダーが視力を失ってしまったのは1950年代、未熟児用の保育器の酸素で網膜をやられたからだそうです。

また、治療目的だけではなく、母—子—父の絆を作り強化するための歌唱活動も紹介されました。ワークショップでは、新生児に語りかける替え歌を約二十人のチームごとにそれぞれ1曲作り、実際に披露します。選曲や歌詞の意見交換も初対面の外国人同士が英語でやるのでとてもスリリングでしたが、最後はどのチームも素晴らしい歌ができ、居合わせた日本人のドクターが感心していました。

大会全体を見回すと大変ユニークなテーマやマネのできないような名人芸もありましたが、堀田メソッドほどシンプルかつ効果的、効率的なものは無かったと実感します。半年の研修で資格を取れば現場に出られて、ミソラのバックキングでことばを引き出し知育まで導くという薬でもオペでも成し得ないことを実現して感謝され、しかも収入を得られるわけですから。

ミソラは日本語固有のものですが、それぞれの言語や民族もミソラに相当するような発語の「てこ」になるような音階があるのかもしれませんが。もしそうであれば、堀田メソッドも原理的にはある種の普遍性を持っているのでしょう。

明年にはロシアでワールドカップがあります。日本代表の活躍と日本ことば療学会の皆様が地域でさらにご活躍されることを祈念しつつ、去りゆく今年と来たる新年に思いを馳せております。

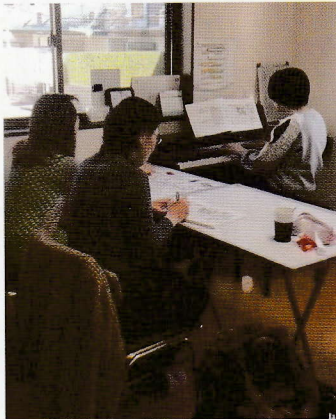
ことば音楽療法の施設への導入

大阪府東大阪市にある「みそら音楽教室」の深谷です。

みそら音楽教室になる前は、福祉サービスを使った児童発達支援・放課後等デイサービス「どれみだんけ」の中でことば音楽療法を行っていましたが、H29年3月「どれみだんけ」とは別に、福祉サービスではなく民間の教室として「みそら音楽教室」を開くことになりました。

現在、3歳～50歳の方まで約30名がレッスンを受けてくださっており、その中にはことば音楽療法士の資格を取られた後、ご自身のレベルアップの為にピアノレッスンを受けておられる方や、成人されてから病気が発症し、高次脳機能障害になられた方など、いろいろな方がそれぞれの目的をもってみそら音楽教室に通ってくださっています。

放課後等デイサービスでは18歳までという年齢制限がありましたが、みそら音楽教室ではその縛りもなく、高校を卒業された後も継続してことば音楽療法を受けていただくことが可能になりました。



現在「みそら音楽教室」はことば音楽療法士 育成活動の認定校として活動させていただき、今までに基礎セミナーを12回実施し、約240名の方が受講していただきました。その受講生の中から更にことば音楽療法士の資格を取られた方が43人。

沖縄・東京・徳島・富山・・・など、県外からもセミナーやスクーリングを受けに来られています。

これからもたくさんの方にことば音楽療法を知っていただき、発語を促す一つの方法として認知されていけばいいなと思っています。

どれみんと

大阪府八尾市高安の放課後等デイサービス「どれみんと」です。

みそら音楽教室でセミナーを受けた3人で「ことば音楽療法士」の資格を取り、ことば音楽療法の放課後等デイサービス・児童発達支援の事業所としてH29年8月にスタートしました。

私たちの事業所の特徴として、日曜日にクラブがあり、例えば体を使うソフトエアロビクス部・スイミング部、そしてリズム感や仲間意識を高める音楽部があります。

また、私たちは指導者でもありますが、障がいを持つ子の親としての立場から、事業所を利用していただく親御さんの気持ちに寄り添い、共に子育てのお手伝いをさせて頂ければと思います。

ことば音楽療法とクラブ活動の相乗効果で利用されるお子さまの成長はもちろん、自信にも繋がればとてもうれしいです。

そのためには日々ことば音楽療法の教材を基に利用者の方にあった教材作りや、指導者としてのスキルアップに励んでいきたいと思っています。(馬場)



こどものいえ のいちご

ことば音楽療法との出会い…

保育士をしていた頃、全く発語のないお子さんがクラスにいました。そのお子さんが、ことば音楽を取り入れている療育に通う事になり、みるみるうちに言葉が増え今では、単語ではありますが聞き取れるようにまでなるのを目にしたことが、きっかけです。

現在、私は、東大阪市でモンテッソーリ教育を主とし、子ども達に支援していたところに、ことば音楽療法を取り入れてアプローチしています。主に自閉症スペクトラム児、LD児のお子さんをメインにことば音楽をしています。LD児においては、文字・数を見るだけで拒否していたのが、音楽が入ることで楽しく参加できるようになり、半年で書くことまで出来るようになりました。

子ども達も毎回楽しみに来てくれるようになり、ことば音楽療法を取り入れて良かったです。

これからも、ことば音楽を通してたくさんの子ども達に関わって行きたいと思います。(北嶋)



ひまわり

東大阪市で放課後等デイサービス・児童発達支援を行っている「ひまわり」です。

今まで遊んでいる時、あまり声を発しなかった子が、ことば音楽療法を始めて、遊んでいる時に少しずつ声を発するようになったり、保護者様から、「ことば音楽療法を楽しみにしている」、「家でことば音楽療法の歌を歌っている」「言っていることが前より聞き取りやすくなった」「前までは、単語だったのが、二語文で伝えてくれることが増えてきた」など、ことば音楽療法をしてからのお家での変化を聞くと、さらに頑張ろうという気持ちが湧いてきます。

“今日のレッスンは上手いかなかったな”、と反省する日もありますが、反省を糧にして、子どもたちと一緒に私たちも一歩ずつ成長していきたいと思います。(酒井・小田)



ふぁんふぁん

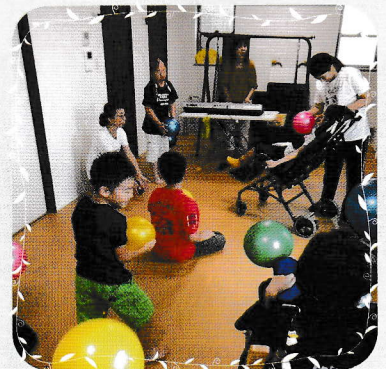
児童デイサービス「ふぁんふぁん」では、週に1回グループレッスンを行っています。深谷先生にも講師として来ていただき、子ども達だけでなく、スタッフも学ばせてもらっています。

最初は「何するの?」「おやつまだ?」など、レッスン中も他のことが気になっていた子も、「今日はことば音楽療法の日!!」と毎週楽しみにしてくれるようになり、集中して取り組めるようになりました。

グループレッスンでは、集団での参加の意識を高め、行動と言葉の一致やからだの部位などを学んでいます。

ふぁんふぁんは肢体不自由児の利用者さんもいますが、日頃からお手伝いしてくれる子ども達が、マラカスやピコピコハンマーを運んでくれる場面も見られる反面、順番が待てない、聞かれてないのに答えてしまう・・・など、グループレッスンならではの課題も見えてきました。

今後子どもたちにわかりやすい伝え方を学び、日々勉強していきたいです。(内浜)





生きていくうえで大事なこと

音楽セラピー あんだんて主宰

山崎仁美

振り返ること10年前の2007年、悩めるこの年に幸運にも堀田先生とのご縁ができました。その前の年に、音楽セラピー“あんだんて”を夢一杯に開設。それも束の間。撃沈。

アプローチを考え、改善を目指し試行錯誤するも……。子どもたちに申し訳ないそんな思いに押し潰されそうになりつつ何か良い指導法、指導書はないかと……。悶々。

降臨！？フツと以前買った音楽療法の専門誌に“ことばのメソッド”が紹介されているのを思い出したのです。すぐさま堀田先生に電話を掛けさせて頂いたのは言うまでもありません。メソッドを導入……。当初からの教え子にダウン症の仲良し2人組がいます。言語の発達を遅らせる原因の1つである「言語性短期記憶」の弱さがみられ『りんご』が「んご」あるいは『ご』になるのです。

マラカスの歌を大いに歌いました。また運動バランスが悪く、動きがぎこちなかったので“オノマトペ”で動作のリズム歌を作り練習をしました。オノマトペのそこ底力！侮るべからず！先日1人の子の学級担任の先生がみえました。友達のS君『はじめまして〇〇中学の△です。どうぞよろしくお願いいたします。』一礼 堂々たるもの。

現在は翔朋学園（知的障がい、精神障がい者のための総合福祉施設）にも週3日間勤務しています。園は利用者の皆さんのQOLを高める取り組みに力を入れており、重度障がい者の皆さんのために何か企画を考えよとのお達し。堀田メソッドを軸にしたカリキュラムを提案したところ採用されました。椅子に座ることからのスタートでしたが、徐々に皆さんの表情が生き活きと変化し、トイレ問題（失禁など）が減少した等々の変化が見られます。

音楽療法は、人の成長や可能性に関わる仕事であり、人が生き活きと生きるために必要な“自信・生きる力”を育てていく仕事。仕事に誇りを感じる今日この頃です。

きらきら言音堂

検索

2017年度の療育教材ベスト3

1位

商品番号▶E716 オノマトペカード

- 全6種類
オールカラー
- ・乗り物（10枚）
 - ・自然（8枚）
 - ・動物（23枚）
 - ・部位（9枚）
 - ・表情（6枚）
 - ・遊び（14枚）

70枚 厚紙使用



- 大判A4サイズ 8,500円（税込）
- 個人セッション専用サイズ（19.6cm×14.7cm）4,000円（税込）
- 携帯用 ハガキサイズ 2,500円（税込）

2位

商品番号▶S100 あっちゃんあがつく
絵本&たべもの歌CD &たべものかるたセット

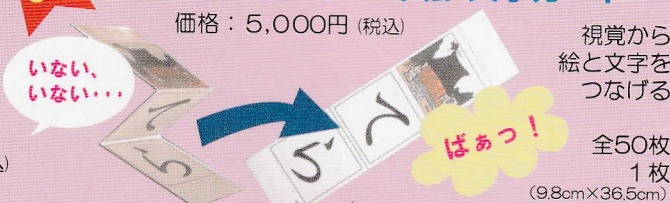
価格：6,200円（税込）



3位

商品番号▶E712 手作りする
いないいないば〜式 絵・文字カード

価格：5,000円（税込）



視覚から
絵と文字を
つなげる

全50枚
1枚
(9.8cm×36.5cm)

コラム12

穴戸 理恵

自閉症やその他の障害を持たれる子の親御さん等が困っていて、よくお聞きすることがある。一つは比較的症状の軽い子どもさんの受け入れ先や進むべき道についての迷いである。人生の道筋、支援の方向が定まり、それに沿って生きていくことが決められない「狭間」にいるお子さん。どうしてよいかわからないと。

普通学級か特別支援学級か、養護学校に行くのか、また、小学校の子が今後、手帳を交付するのかしないのか、中学校でどのようにするのがよいのか、中学校卒業後の進路は何処がよいのか、何処が受け入れてくれるのか、また、勧められた所に見学に行くと雰囲気や内容がマッチしないものであるとか、悩みは多い。

外から見ても発達障害とわからない場合、誤解されたり、親の養育態度を責められたりしても辛いであろう。

学校現場の先生、しかも通級学級、支援学級の担任以外の普通学級の先生方の理解と協力、手立てのビジョンも大切と思われる。もう一つよく話題になるのは、言語訓練を一方向的に終了させてしまうことである。ある程度の年齢に到達すると、次から次へと言語訓練を受けに来る小さい子が入ってくるのでとろてんのように出されて終わってしまう。これは難しい問題である。終了せざるを得ない現状がある。

そんな時、ことばの音楽療法を行っている場所が近くにあると良い。日本中どこにでもあると良い。これ以上伸びませんと言われても8歳でも9歳でもどんどん発語やことばの理解は進んでいく。

私たちは日本中にどんどん伝えて広げていかななくてはならない。

この人に
注目!

愛知県でご活躍の穴戸理恵先生が11月18日(土曜日)、愛知県知立市より知立文化奨励賞を受賞されました。

アーティストとしてのコンサート活動とともに、市内各所の子育て支援事業においても幅広い視点で音楽文化を活用し、未来を担う子ども達の心を豊かにする活動をされています。益々のご活躍を願っています。



● 一般社団法人 発達支援協会 認定校・教室 ●

認定校

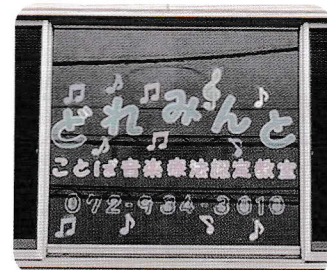
- 1 名古屋市【発語音楽研究所】
療育責任者：堀田喜久男
(発語音楽療法←検索)
- 2 東大阪市【みそら音楽教室】
療育責任者：深谷靖子(どれみだんけ facebook)



みそら音楽教室

認定教室

- 1 大阪府【さゆり音学院】 主宰者：土田靖子 HP:<http://www.seepa.jp/u/hatugo-oosaka/>
- 2 愛知県【SiSiDo Music room】 主宰者：穴戸理恵
HP:<http://www.seepa.jp/u/piano-hatuhgo/>
- 3 京都府舞鶴市【でんでんむしの会】 松浦光子
- 4 三重県【樋口音楽教室】 主宰者：樋口なおみ
- 5 福岡県行橋市【ことばの音楽教室】 主宰者：工藤知子
- 6 福岡県遠賀郡『りずむの木』 主宰者：石井純子
- 7 京都府舞鶴市『さがん発語音楽教室』 主宰者：目美香
- 8 大阪府枚方市『安宅ことば音楽療法教室』 主宰者：安宅千世子 どれみんと(大阪府八尾市)
- 9 東京都江戸川区ことば音楽療法『あ・い・う・え・お』 主宰者：嬉 利恵
- 10 愛知県碧南市『ひだまり』教室 主宰者：小笠原清恵
- 11 福岡県行橋市長木『ことばの♪パツ♪』教室 主宰者：松尾範子
- 12 兵庫県芦屋市『きじ猫 音楽工房』 主宰者：上野奈央
- 13 愛知県常滑市『長鎌音楽教室』 主宰者：長鎌明美
- 14 大阪市都島区『音楽セラピーみゅーじっくらんど』 主宰者：末吉裕美
- 15 大阪府八尾市『どれみんと』 主宰者：馬場富美江



ことば音楽療法士 認定者 ▶ 146名 (受講中も含め) H29年11月現在

ことば音楽療法の認定校・教室です。教室か事務局にお問い合わせください。
認定校・認定教室を全国にて募集しております。 TEL & FAX : 052 (505) 5255

一般社団法人 発達支援協会 事務局

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98 JHTA内 TEL & FAX : 052 (505) 5255

ことば音楽療法 日本ことば療法学会

検索